

～ 手をつなぎ 地域を支える 福祉の未来 ～

おとべ町

社協だより



第228号 令和4年1月

築こうよ 笑顔あふれる 福祉の町 おとべ!!

乙部町社会福祉協議会・共同募金委員会 会長 林 一夫
乙部町ボランティアセンター 運営委員長 生田 晃吉
乙部町ボランティア連絡協議会 会長 米田 雅紀

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から社会福祉協議会事業、共同募金委員会事業、ボランティア活動へご理解とご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、日本国内においては感染者の減少が続き、経済活動、地域活動の対策にも様々な動きが出てきております。しかしながら、新たな変異株の出現や第6波到来の懸念もありますので、専門家がおっしゃるように、感染状況や場面に応じた対策を取り、「心の備え」をしておきましょう。

乙部町内では、国道の通行止めによる迂回路の使用が長期に渡っております。今後も続くことから、多くの方々が、日々、不安や心配を抱えておられることと存じます。これから寒さが増す季節を迎えますので、体調、車の運転や足元にも十分気を付けてお過ごし下さい。

最後になりましたが、新しい年を迎え、皆さまのご多幸とご健勝を祈念しますとともに、本年も、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます。

令和4年 元 旦

お正月用のカット
をお願いします。

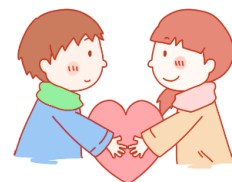
会長 林 一夫
副会長 根元 健治・迫間 武男
理事 関村 八郎・阿部喜美夫・米田 雅紀・今井 琴音・花谷 鉄也・小川 悠平・
梅川 竹秋・小田 宣広・蛭名 憲子・鈴木 昌夫・澤村 一明・小野 和利・
麓 光敏
監事 江口 丈治・敦賀 正春
職員 江川奈穂子・瀧澤喜穂子・櫻井 明美

● 発行 社会福祉法人 乙部町社会福祉協議会

社協だよりは赤い羽根共同募金運動の助成金により発行されております。

～愛情銀行～

心温まる寄付をいただき、ありがとうございました。
(9月～12月分)



●ペットボトルキャップ、リングブル（順不同）

原田萌叶様、黒澤テルヨ様、黒澤恵子様、梅川麻理子様、吉川一夫様、
新谷かほる様、新谷祐子様、堀田民男様、増川ミヤ子様、明石和子様、
三浦愛子様、熊石デイサービスセンター様、生田晃吉様、木下久子様、
星美江子様、麓佳子様、後藤由美子様、後藤京子様、菅野良子様、
永井悟様、増永夢様、松山郵便局長夫人会西部会様、
松山郵便局長夫人会南部会様、匿名希望（9名）

※ 複数回お寄せいただいている方も、この紙面でのお名前の掲載は1回とさせていただきます。ご理解のほどよろしく願いいたします。

●切手、古切手（順不同）

匿名希望（1名）

令和3年度歳末たすけあい運動

◆寄付金

・寺岡光子様 ・伊藤泰修様 ・館英昭様 ・匿名希望（3名）

☆お名前の漏れ、誤字などございましたら、お手数でも事務局までご連絡をお願いします。

(電話 62-3544)

◆使用済み切手◆

集められた切手は、活動団体に送付します。活動団体では、その切手を個人収集家にお問い合わせいただき換金し、そのお金が国際保健医療協力活動に役立てられます。

～収集についてのお願い～

- ・切手の周り1cmほどを残して、切り取って下さい。
- ・複数貼られている場合は、まとめて（1枚ずつにしないで）
周りを切ってください。
- ・破れている、折れている、汚れがある、周りのギザギザが無い
切手は、収集出来ません。



◆ 「ふれあい広場」中止に伴うマスク等配布事業について ◆

今年も、残念ながら「産業まつり」が中止となり、社協事業の『ふれあい広場』も中止となりましたので、対象者（70歳以上の一人暮らしの方、身体障害者福祉協会の方）の方々に安否確認も兼ね、マスク等を配布する内容に変更し、7月下旬から8月上旬にかけて実施しました。

感染症の影響が続く中、集まる機会が減り、外出の機会も少なくなりましたが、多くの方の笑顔を見ることが出来ました。

また、「訪ねて来てくれることがありがたい。」と言って下さった方も居るとのことです。一堂に会することが難しい状況が続いておりますが、人と人が会うことの大切さを改めて感じた出来事でもありました。

配布にあたっては、身体障害者福祉協会の班長さん、各地区の社協理事に協力をいただきました。ありがとうございました。



《在宅介護者のつどい》【町受託事業】

この事業は、在宅で介護をされている方々にリフレッシュしていただくことを目的に、開催しております。

今年度、第1回目は、7月19日（木）に開催されました。地域包括支援センターの吉岡保健師に、講話などをお願いしました。2回目は、10月19日（火）に開催され、同じく、地域包括支援センターの常田保健師に講話などをお願いしました。

両日とも、参加者の方々がそれぞれ、自己紹介などをしながら、和やかな雰囲気の中で行われました。介護をされていて感じていることや、心がけていること等をお聞きし、「自分だけじゃなかった。安心した。」「色々なお話しが聞けて良かった。」とのお声もいただきました。



外出することがなかなか難しいと感じている方も多いかと思いますが、今後、機会がありましたら、ご参加いただくと嬉しいです。感染症予防に心がけて開催しております。

◆◆◆ 赤い羽根共同募金運動 ◆◆◆

今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まり、町民皆様のご理解とご協力により、温かいお気持ちをお寄せいただきまして、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、地域において募金を集めに回って下さった方々には、改めまして厚くお礼申し上げます。

皆様からお寄せいただきました募金は、一旦、北海道共同募金会に送られ、令和4年度の乙部町社会福祉協議会事業や団体運営の推進におよそ7割が役立てられる仕組みとなっております。また、北海道内にある福祉施設の整備や福祉活動にも役立てられ、一部は、全国の災害支援（「災害準備金」）にも役立てられることとなっております。



高齢者や在宅で介護が必要な方に歳末プレゼント贈呈

～歳末たすけあい運動～

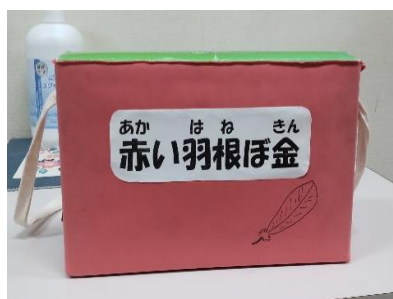
「歳末たすけあい運動」につきましては、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、バザーの開催は中止としましたが、運動へのご理解をいただき、募金をお寄せいただいております。お気持ちをお寄せいただき、心より感謝を申し上げます。

今年度の「歳末たすけあい運動」実績額と前年度までの繰越金、さらには地域活動推進協議会や町民皆さまから社会福祉協議会に寄せられました寄付金を充て、歳末プレゼント贈呈事業（社協事業）を実施し、町内のひとり暮らしの高齢者（75歳以上）や在宅で介護が必要な方など、対象者261名の方々にプレゼントをお届けしました。皆様方のご支援とご協力に、心より厚くお礼を申し上げます。

《令和3年度》

・ 赤い羽根共同募金実績額	905,183 円
・ 歳末たすけあい運動実績額	20,000 円

※ 上記の金額等は、12月21日現在の数字となっております。最終的な実績等につきましては、改めて報告させていただきます。



【栄浜小学校児童会】

赤い羽根募金を集める時、作って下さった募金箱です。首からかけられるようにし、羽根のイラストも付けて下さっています。各学校でも工夫し、ご支援をいただいております。児童生徒の皆さん、ありがとうございます。

《紙面にて1校しか紹介できず、申し訳ありません。》